

星空のたより

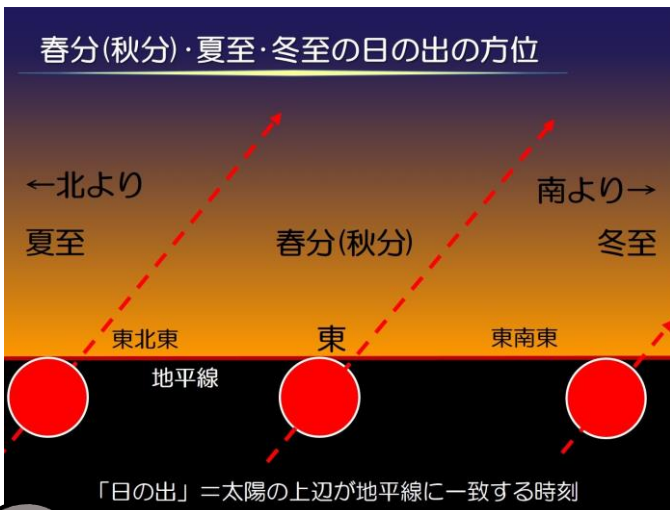
2018年3月号

岐阜市科学館

岐阜市本荘 3456-41

TEL 058-272-1333

空には春の息吹が満ちています!!



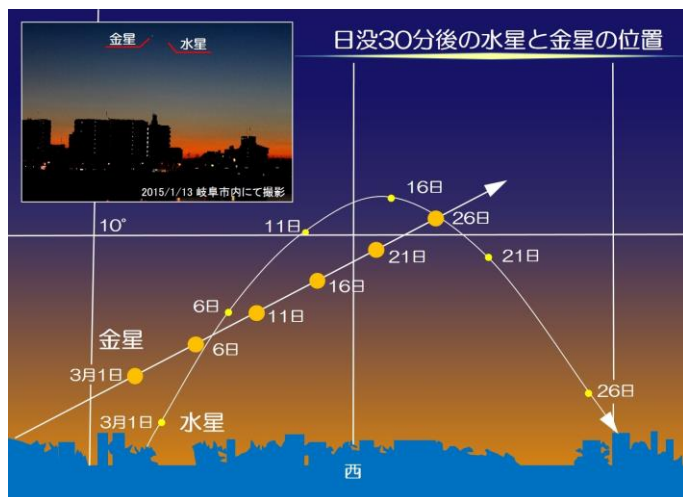
ドッシー

MISSION 金星を目印に水星を目撃せよ!!

9月号で紹介した水星が再び見頃を迎えている。ところで、前回水星を発見できたかな? 水星は最も太陽に近いがゆえに、太陽の光が邪魔をしてなかなか見つけにくかっただろう。しかし、安心して欲しい。今月夕方西の空で、水星と金星が接近する現象が起こる。しかも、今月の水星は高度が今年最大となるため見つけやすい。右下の図を見てくれ。水星は3月1日以降徐々に高度を上げていく。そして、16日に最も高度を上げ、その後徐々に下がっていく。つまり、16日と前後5日間が水星を見るチャンスだ。近くに宵の明星となった金星のまばゆいばかりの光があるから、それを目印にすると一層探しやすいだろう。有名な天文学者コペルニクスでさえ水星だけは一度も見たことがないという。地球の兄弟星の光をぜひ探してくれ!

太陽がほぼ真東から昇るのはいつ?

最近(さいきん)は日差し(ひざし)の暖かさ(あたたかさ)に春(はる)の訪れ(きたり)が感じ(かん)じられるね。太陽(たいよう)は東(ひがし)から昇(あ)り西(にし)に沈(しず)むけれど、日の出(ひのい)の方位(ほうい)を詳しく調(しら)べると、冬至(とうじ)の頃(ころ)は真東(まひがし)から南(みなみ)よりの東南東(とうなんとう)回り(まわり)から、夏至(げし)の頃(ころ)は真東(まひがし)から北(きた)よりの東北東(とうほくとう)回り(まわり)になるんだ。「東(ひがし)から昇(あ)り」とは言い(い)ながら、ずい分(ぶん)と位置(いち)が違(ちが)っているね。では、「ほぼ真東(まひがし)から昇(あ)るのはいつ?」と質問(しつもん)されたらみんなはどう答(こた)える? きっと、冬至(とうじ)が南(みなみ)よりで夏至(げし)が北(きた)よりだから、その中間(ちゅうかん)の頃(ころ)を思い浮(おも)かべるね。正解(せいかい)は「春分(しゅんぶん)」と「秋分(しゅうぶん)」だよ。春分(しゅんぶん)と秋分(しゅうぶん)のとき、太陽(たいよう)はほぼ真東(まひがし)から昇(あ)り、ほぼ真西(まにし)に沈(しず)むんだ。春分(しゅんぶん)も秋分(しゅうぶん)も「春分(しゅんぶん)の日(ひ)」、「秋分(しゅうぶん)の日(ひ)」と祝日(しゅくじつ)になっているから馴染(なじ)み深い(ふか)いね。ちなみに、春分(しゅんぶん)の日(ひ)(今年(ことし)は3月(がつ)21日(にち))は「自然(しぜん)をたたえ、生命(せいめい)をいつくしむ日(ひ)」とされているから、春(はる)の日差し(ひざし)を浴(あ)びながら、身(み)の回り(まわり)の自然(しぜん)に目(め)を向(む)けてみよう!!



月の満ち欠けと月の出の時刻 (観測地・岐阜市)

み かつ き	●	はんげつ (じょうげん) (上弦)	●	まんげつ	●	はんげつ (かげん) (下弦)	●	しんげつ	●
2/18	7:59	2/23	10:58	3/2	18:06	3/9	0:11	3/17	5:59
3/19	7:06	3/25	11:28	3/31	17:57	4/8	0:38	4/16	5:38

※日の入り後、月を見るのに適した期間 (2/17~3/4、3/18~4/2)

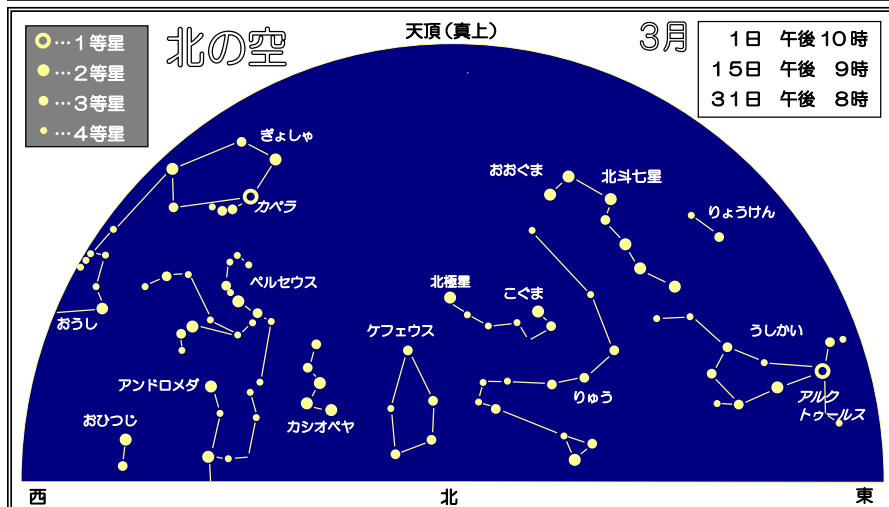
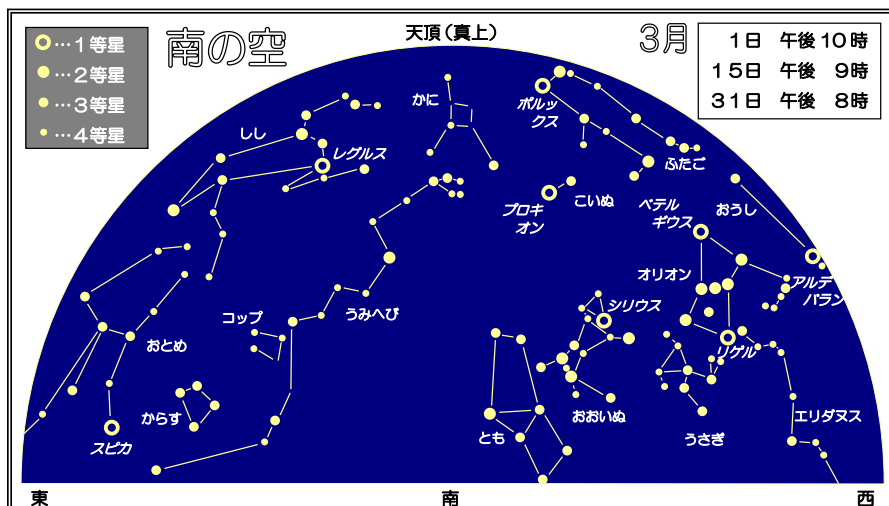


おおぐま座

北の空にあるひしゃくのような星の並び、「北斗七星」はとても有名ね。だから、「北斗七星座」という星座があると思いがちだけれど、そんな星座はないのよ。下の星座絵にあるように、北斗七星は「おおぐま座」の腰から尻尾にかけての星の並びなの。でも、みんなが知っているくまとは何かが違っているわね！みんなも考えてみて。正解は「尻尾」。尻尾が長すぎるの！実は、神様がこのくまを空へ上げて星座にすると、短い尻尾をつかんでグルグル回して投げ上げたの。回されるうちに短い尻尾は長くなってしまったわ。もっと



違う方法で上げられなかったのかしら!?



星空クイズ Q: 北の空の目印である北斗七星をもつ星座は?

おおぐま座の一部を形作る北斗七星は7つの星を結んで描きますが、実際にはもう1つ星が隠れています。腰から数えて6番目の星「ミザール」をよく見ると、隣に暗い星「アルコル」が並んでいます。昔はアルコルが見えるかどうかを利用して視力検査をしていました。(答え…おおぐま座)

★★★ 新番組「WE ARE STARS」の放映が始まるよ!! ★★★

とある遊園地。ショーマスターの声に呼び込まれテントの中に入ると、そこで繰り広げられる宇宙の歴史と私たちのつながりを解き明かすストーリー。あなたを不思議な世界へご案内します。

	11時	12時	13時	14時	15時	16時
平日	※放映時間は各回約 50～55 分 前半に今夜の星空解説あり。		星空解説 & WE ARE STARS 13:00～		◆星空解説 & 火～木曜日 アースシンフォニー 金曜日 星空タイム 14:30～	星空解説 & WE ARE STARS 16:00～
土曜日 日曜日 祝日 春休み	キッズタイム 星空解説 & 忍たま乱太郎 10:30～	星を見る会 昼間の	■星空解説 & WE ARE STARS 13:00～	星を見る会 昼間の	◆■星空解説 & ドラえもん3 14:30～	■星空解説 & アースシンフォニー 16:00～

● 星空タイムは、毎週金曜日14:30～のオール生解説のプラネタリウムです。夕暮れから夜明けまでじっくりと星空めぐりをします。

☆ 昼間の星を見る会 (11:30～、14:00～、15:30～) 土・日・祝日に屋上天文台にて

☆ 3月10日(土) 19:00～は「星を見る会」。当日9:30から参加券配付(定員制) 屋上・天文台で「ポルックス、M41、M44」などの観察をします。

☆ 3月24日(土) 19:00～は「ぎふスターウォッチング」。JR 岐阜駅前にて(事前申込不要)

■ 2月27日～3月2日は番組入替えのためプラネタリウム休演日となります。

☆印は天候により天体観望が中止となることがございます。